

# iCD活用企業認証の開始について



2015年12月8日

一般社団法人コンピュータソフトウェア協会  
一般社団法人福岡県情報サービス産業協会  
特定非営利活動法人 スキル標準ユーザー協会

# iCD活用推進3団体

以下の3つの団体は、2012年3月のCCSF(追補版)発表から、2015年6月発表のiCD2015を通して、これらの活用を積極的に推進してまいりました。これまでの活動の結果、実際の企業への導入・活用を通じて、iCDの有効性を確認できたと考えており、全国に向けた飛躍的な普及の促進に向けて、さらなる活動の強化を行っていきたいと考えています。

## ■ 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会(CSAJ)

代表: 荻原会長(豆蔵ホールディング代表取締役社長)

iCD推進責任者: 木田徳彦理事(株式会社インフォテックサーブ代表取締役社長)

## ■ 一般社団法人福岡県情報サービス産業協会(FISA)

代表: 鬼山会長(西部ガス情報システム株式会社代表取締役社長)

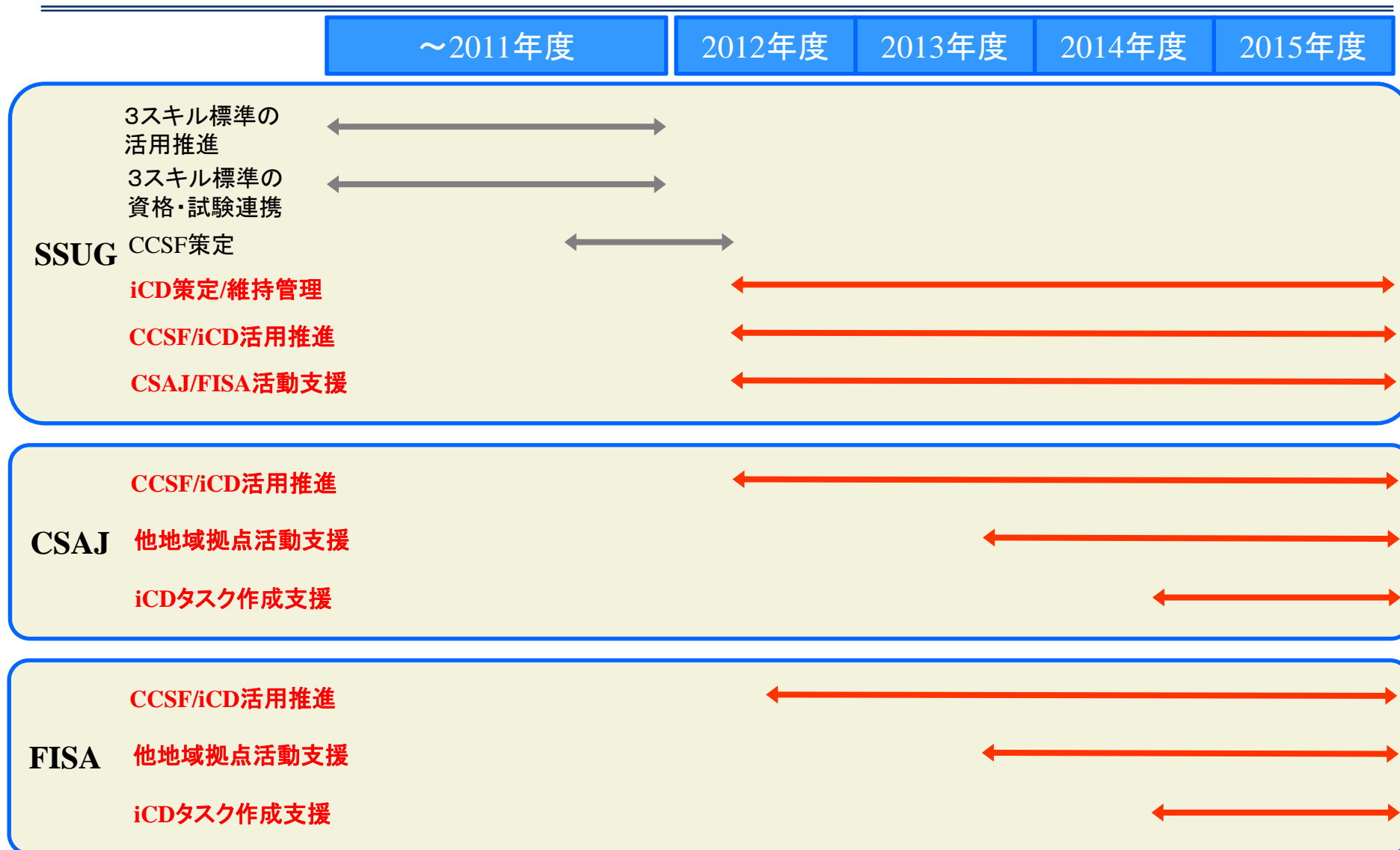
iCD推進責任者: 柴田健二氏(麻生教育サービス株式会社取締役営業部長)

## ■ 特定非営利活動法人 スキル標準ユーザー協会(SSUG)

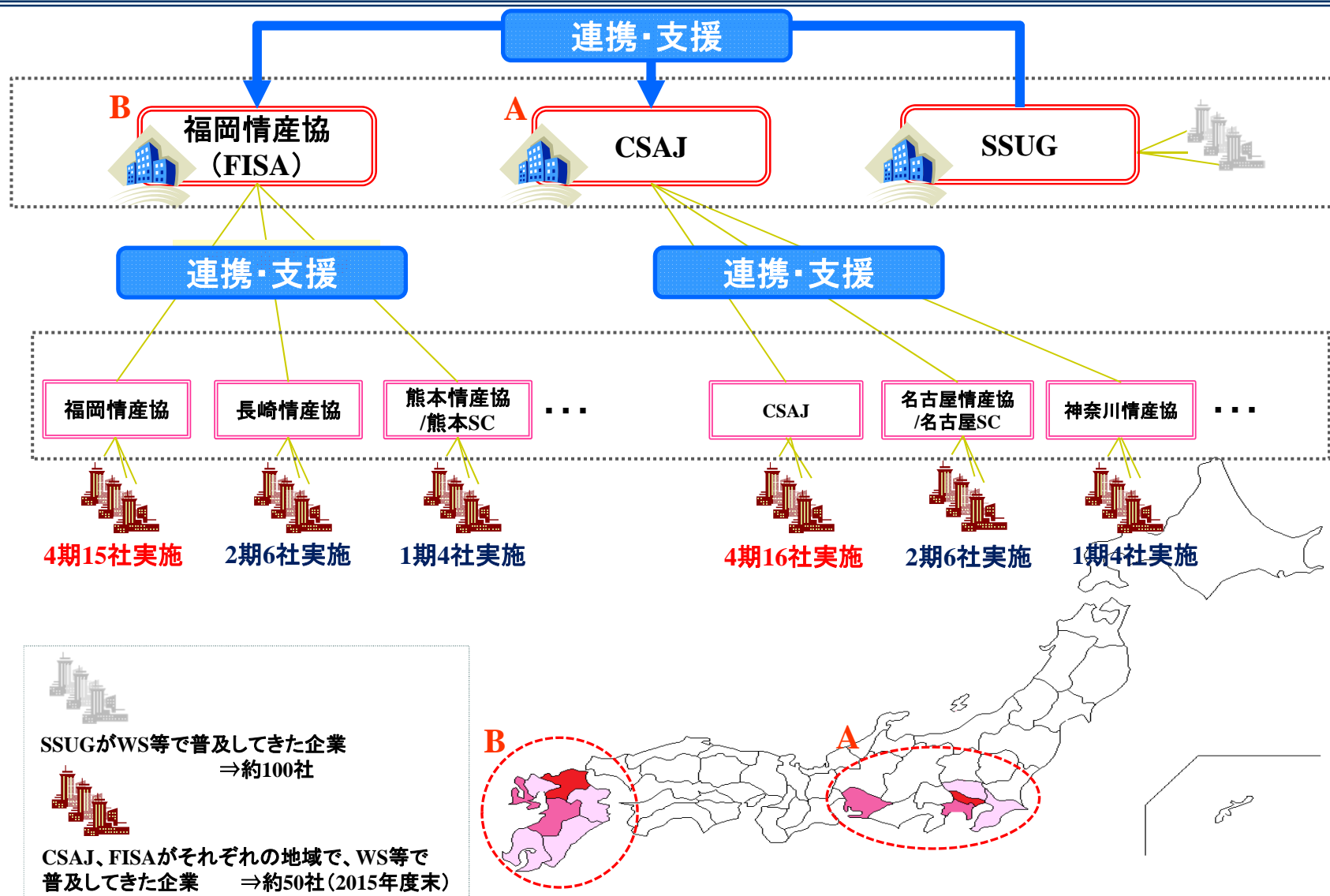
代表: 石島会長(首都圏大学院大学学長)

iCD推進責任者: 高橋専務理事(株式会社スキルスタンダード研究所代表取締役社長)

# 3団体によるこれまでのiCD活用に係る取り組み①

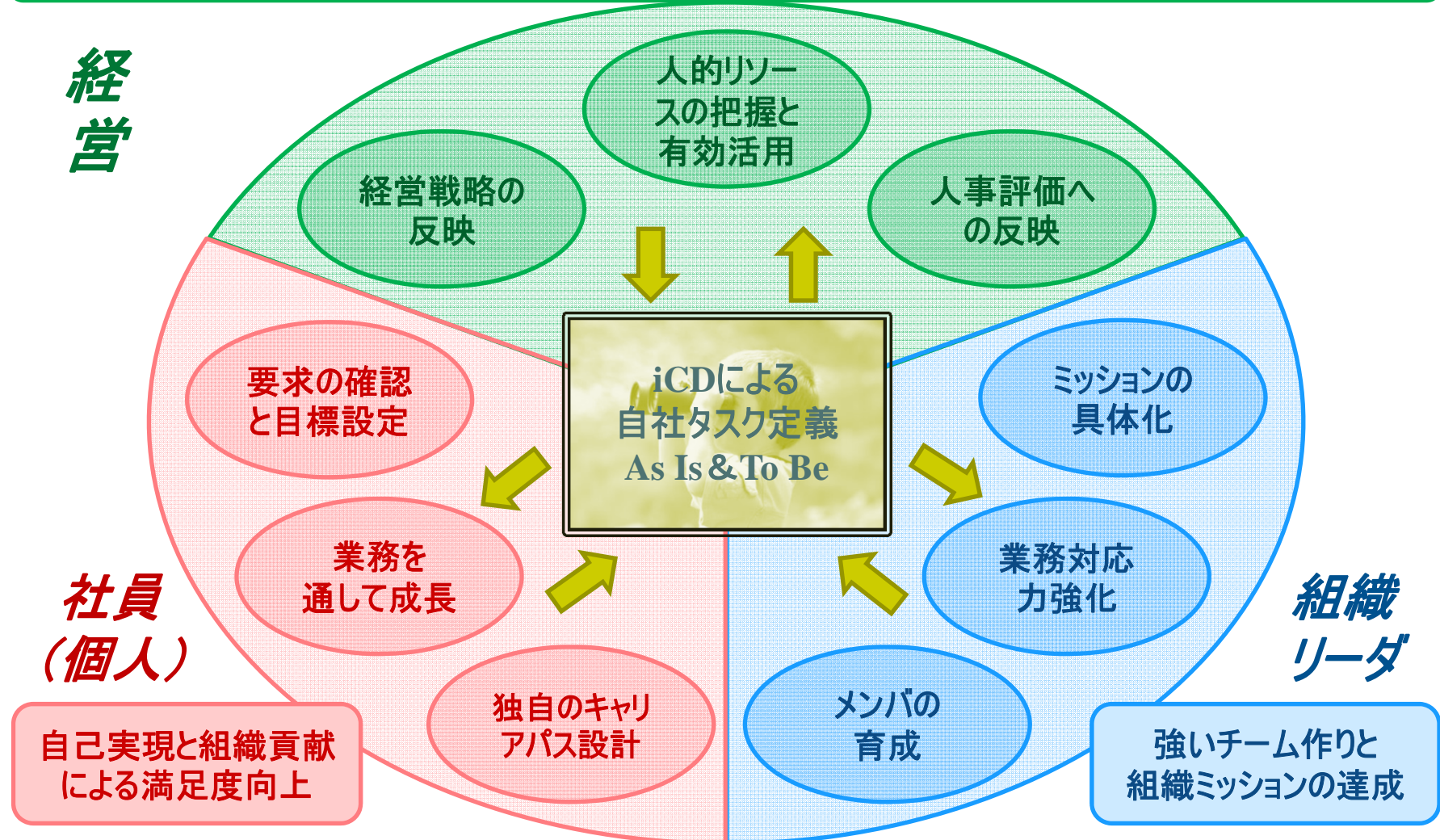


# 3団体によるこれまでのiCD活用に係る取り組み②



# iCD活用による実際の効果 ～参加企業の生の声より

## 経営戦略の達成とイノベーションを呼ぶ会社組織の構築



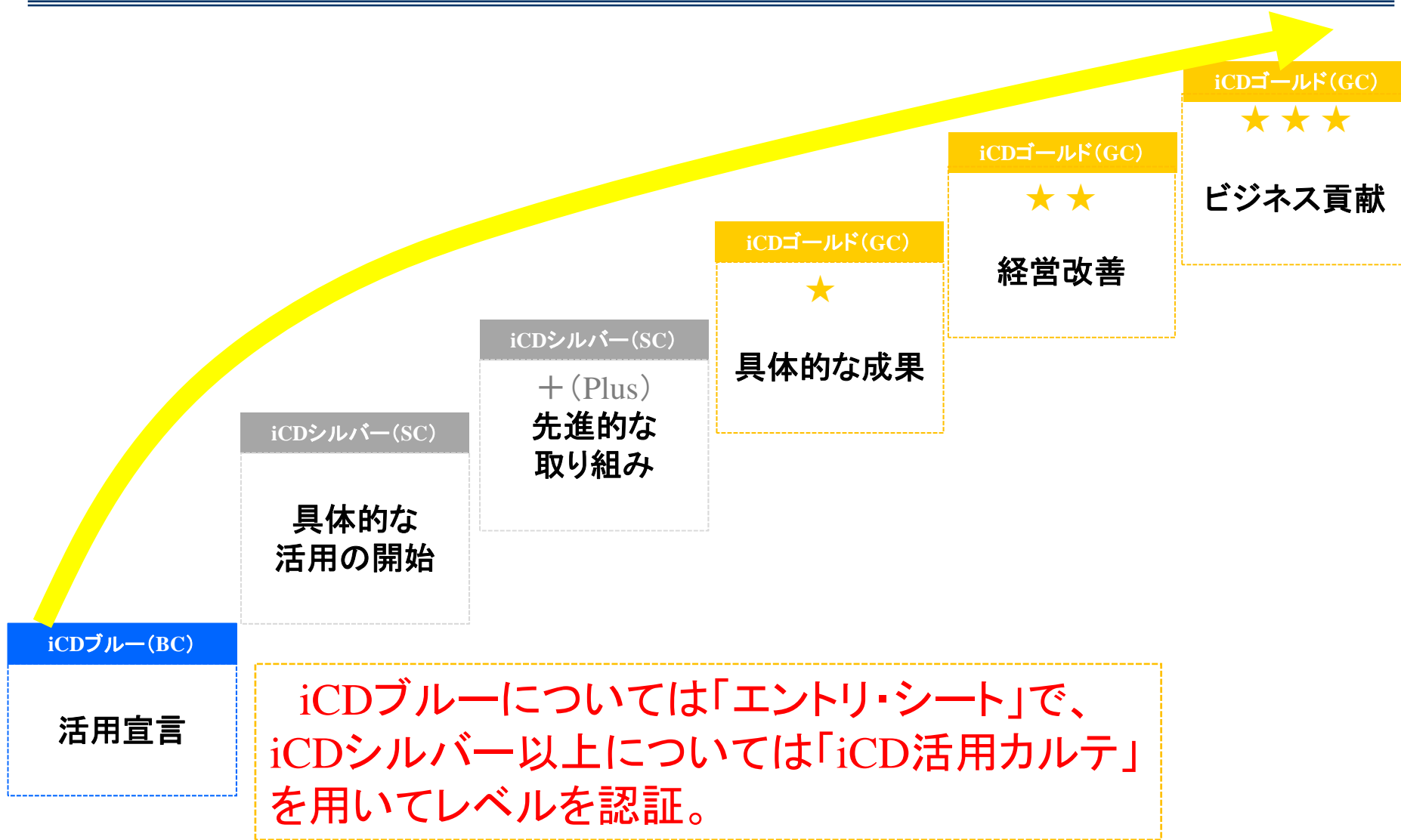
# 発表します！！

このような成果が出始めている企業を  
世に紹介し、日本におけるiCDの活用  
をさらに飛躍させるため、3団体による

**『iCD活用企業認証』**

をスタートします！

# iCD活用企業認証の概要① ～認証レベルのイメージ



# iCD活用企業認証の概要②

## ～「エントリー・シート」と「iCD活用カルテ」～



### 「エントリー・シート」

**iCD活用エントリー・シート**

■企業情報-

Q1. 企業情報を記入してください。

会社名:

所在地:

所属部署:

役職:

氏名:

メールアドレス:

電話番号:

Q2. iCDの活用を検討されていますか。

検討を開始している  検討を予定している  検討していない(予定もない)

Q3. 上記の質問で「検討を開始している」、「検討を予定している」とお答えいただいた方にお聞きします。

検討開始時期(予定)を記入してください。

年 月 ころ

※: IT&S, U&S, ET&S, CC&F の活用を含む。

※「iCD活用エントリー・シート」は、13項目の設問に回答

### 「iCD活用カルテ」

**iCD活用カルテ**

■iCD取り組み強基-

Q1. iCD活用の具体的な効果(実績)と、今後予定している効果(目標)をお聞かせください。

(記入方法については、別紙の記入例をご参照ください)

経営戦略の達成とイノベーションを呼ぶ会社組織の構築

経営

社員(個人)

組織リーダー

自己実現と組織貢献による満足度向上

強いチーム作りと組織ミッションの達成

○: 成果のあった項目(実績)

○: 今後成果を予定している項目(目標)

<iCD活用カルテの記入方法>

- 「効果のあった項目」は、別紙で記載してください。
- 「今後効果を予定している項目」は、表紙で記載してください。
- 効果は、「経営と組織」、「組織と個人」のようにより、複数の視点に重ならないでも構いません。
- 上記に記載した効果項目の目標時期については、次のページに記載してください。

※: IT&S, U&S, ET&S, CC&F の活用を含む。

※「iCD活用カルテ」は、28項目の設問に回答





## i Competency Dictionary

- アンケートQ12にチェックし、後日送られてくるエントリーシートに必要事項を記入すると、数日で発行されます。
- 講演会の聴講等により、iCDについての知識があり、かつ、自社で活用したいという意向があれば、どなたでも取得可能です。
- 来年度IPAが開設する予定のiCDポータル(仮称)に会社名が掲載されます(希望する場合)。



## i Competency Dictionary

- iCDを具体的に活用し始めた企業を認証します。
- 所定のフォーマットの“活用カルテ”に記入し、エントリーします。3団体の審査により、活用が認められれば発行されます。
- iCDを活用した人材育成施策の実行等、定期的な運用に入っていれば、シルバープラスとして認証されます。
- 来年度IPAが開設する予定のiCDポータル(仮称)に会社名とともにiCDの活用状況(1社半ページ程度)が掲載されます(希望する場合)。

# iCDゴールド(★～★★★)



## i Competency Dictionary

- iCDを活用し具体的な成果が出ている企業を認証します。
- 所定のフォーマットの“活用カルテ”(シルバーと共通)に記入し、エントリーします。3団体の審査により、成果が認められれば発行されます。
- 成果の内容や、活用期間などの運用状況により、★の数が増えます。
- 来年度IPAが開設する予定のiCDポータル(仮称)に会社名とともにiCDの活用状況、成果(1社数ページ)が掲載されます(希望する場合)。

# iCDブルー認証

---

ブルー認証を受けるためには、下記のセミナーを受講するなど、iCDへの理解が前提となります。

- ① 毎月IPAで開催しているiCDセミナー
- ② 3団体が開催するセミナー(今後開催予定)

# iCD活用企業認証の候補企業

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 株式会社リカルト             | 関西電力株式会社              |
| プロミス株式会社             | 三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社 |
| 株式会社インフォセンス          | 株式会社日本コンピュータコンサルタント   |
| キーウェアソリューションズ株式会社    | 株式会社中電シーティーアイ         |
| 株式会社サントリーシステムテクノロジー  | 株式会社ベネッセコーポレーション      |
| 独立行政法人 住宅金融支援機構      | ADK富士システム株式会社         |
| 株式会社エネルギー・コミュニケーションズ |                       |
- ※過去にセミナー等で自社の取り組み内容をご講演頂いた企業

- 西部ガス情報システム株式会社  
西日本コンピュータ株式会社  
グローバルプレインズ株式会社  
株式会社テクノスクエア  
ユニティ・ソフト株式会社  
株式会社BCC  
株式会社 テクノ・カルチャー・システム  
日本システムスタディ株式会社  
マイクロコート株式会社  
ICTコンストラクション株式会社  
九州NSソリューションズ株式会社  
株式会社ヒューマンテクノシステム  
株式会社FCCテクノ  
TIS西日本株式会社  
Gcomホールディングス株式会社

- 不動技研工業株式会社  
株式会社NDKCOM  
オフィスメーション株式会社  
扇精光ソリューションズ株式会社  
NBC情報システム株式会社  
株式会社イシマル

- ソフトウェアビジョン株式会社  
マインドソフトウェア株式会社  
株式会社電盛社  
株式会社九州ソフト

- 株式会社カシックス  
株式会社フジミック新潟  
株式会社ユニテック

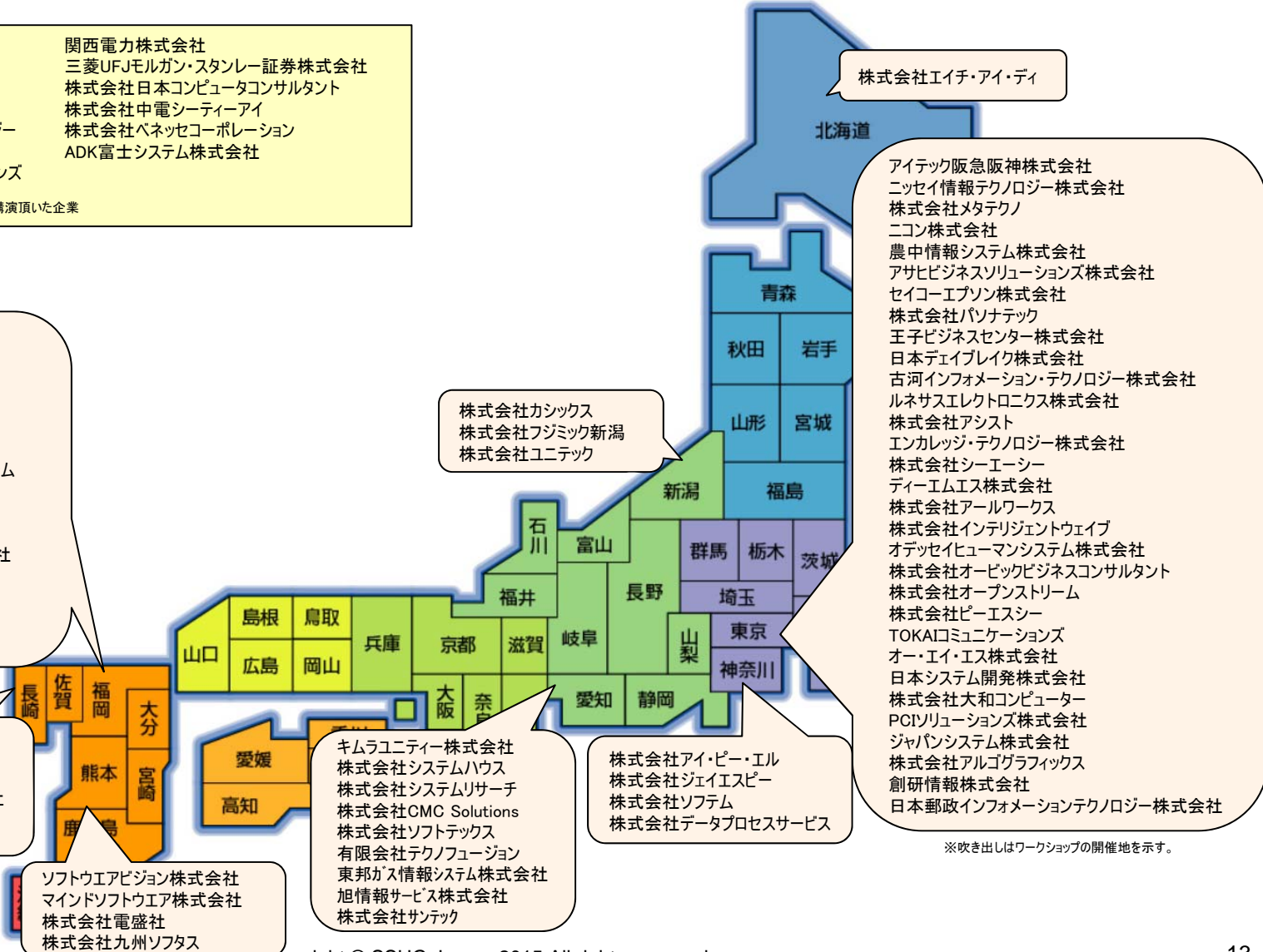
- キムラユニティ株式会社  
株式会社システムハウス  
株式会社システムリサーチ  
株式会社CMC Solutions  
株式会社ソフトテックス  
有限会社テクノフュージョン  
東邦ガス情報システム株式会社  
旭情報サービス株式会社  
株式会社サンテック

- 株式会社アイ・ビー・エル  
株式会社ジェイエスピー  
株式会社ソフトム  
株式会社データプロセスサービス

- 株式会社エイチ・アイ・ディ

- アイテック阪急阪神株式会社  
ニッセイ情報テクノロジー株式会社  
株式会社マタテクノ  
ニコン株式会社  
農中情報システム株式会社  
アサヒビジネスソリューションズ株式会社  
セイコーエプソン株式会社  
株式会社パソナテック  
王子ビジネスセンター株式会社  
日本ディスプレイ株式会社  
古河インフォメーション・テクノロジー株式会社  
ルネサスエレクトロニクス株式会社  
株式会社アシスト  
エンカレッジ・テクノロジー株式会社  
株式会社シーエーシー  
ディー・エム・エス株式会社  
株式会社アールワークス  
株式会社インテリジェントウェイブ  
オデッセイヒューマンシステム株式会社  
株式会社オービックビジネスコンサルタント  
株式会社オープンストリーム  
株式会社ピーエスシー  
TOKAIコミュニケーションズ  
オー・エイ・エス株式会社  
日本システム開発株式会社  
株式会社大和コンピューター  
PCIソリューションズ株式会社  
ジャパンシステム株式会社  
株式会社アルゴグラフィックス  
創研情報株式会社  
日本郵政インフォメーションテクノロジー株式会社

※吹き出しはワークショップの開催地を示す。



# 認証企業を対象とした今後の主な活動展開予定



## ■コミュニティ活動

- … 高度な経営課題である人材育成やヒューマンリソースの有効活用、人事評価制度の確立などに資することを目的として、認証企業による情報交換会等のコミュニティ活動を主催していきます。

## ■資格・研修連携、リクルート連携

- … 具体的な人材の育成施策の策定や、これからますます難しくなる人材の確保に向けて、様々な機関との連携を実現し支援していきます。

## ■グローバル対応

- … 欧米の先進的な事例を確実に参照しつつ、海外での事業展開を見据えた研究会の設置・推進などを行っていきます。

## ■スキルディクショナリ活用研究

- … 未来の価値創造を見据えた技術者の真の実力アップを目指し、タスクディクショナリとスキルディクショナリの効果的な活用連携を図っていきます。

詳細は、追って3団体またはIPAのホームページ等で発表して行きます。

# お問い合わせ先

---

## ■ 特定非営利活動法人スキル標準ユーザー協会 (SSUG)

担当者: 赤塚、高山

電話番号: 03-5212-6501

メールアドレス: info2@ssug.jp

問い合わせフォーム: <https://www.ssug.jp/contact/>

(協会ホームページ : <http://www.ssug.jp/> )

## ■ 一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (CSAJ)

担当者: 小林

電話番号: 03-3560-8440

メールアドレス: gyomu1@csaj.jp

問い合わせフォーム: [https://www.csaj.jp/qa\\_info/index.php/](https://www.csaj.jp/qa_info/index.php/)

(協会ホームページ : <http://www.csaj.jp/> )

## ■ 一般社団法人福岡県情報サービス産業協会 (FISA)

担当者: 田中、柴田

電話番号: 092-832-1344

メールアドレス: fisa-info@fisa.jp

問い合わせフォーム: <http://www.fisa.jp/toi.html>

(協会ホームページ : <http://www.fisa.jp/> )

ご清聴ありがとうございました。

